

科目名	死生学
担当教員	片桐 史恵 大橋 明 笠井 恵二 吉川 杉生
学年	1年
開講期	後期
単位数	2
授業形態	講義

到達目標	死生学を学ぶことにより福祉及び医療従事者の質を高める事を目標とする。すべての人間に関わる生と死の問題を見つめることを通じ、感性を磨き、答えのない課題に向き合う力の育成を目標とする。積極的主体的な学びを体得することも重要な到達目標である。
------	--

授業概要	現代社会において各々の領域においてケアを受ける人々の「QOL」を如何に保持し、また高められるかが切実な課題となっている。そのために、すべての人間にとって必然的な帰結である死を前にしての「QOL」もまた考えねばならない。死生学はその課題を担うものである。答えのない課題に向き合う力をつけることに主眼を置き、様々な素材を提示し考える授業を展開する。
------	--

授業計画	No	授業	予習・復習
	第1回	死生学とは何か	予習：生と死の諸問題には何かがあるか考えてくる。 復習：何故、死生学と呼ぶようになったのかまとめる。
	第2回	様々な文化における死の理解 ①	予習：興味ある文化における死について調べてくる。 復習：講義で取り上げた文化における死の理解を予習と比較する。
	第3回	様々な文化における死の理解 ②	予習：興味ある文化における死について調べてくる。 復習：講義で取り上げた文化における死の理解を予習と比較する。
	第4回	生と死をめぐる諸問題 ー国内外における安楽死の動向ー	予習：安楽死という言葉調べてくる。 復習：安楽死の国内外の動向について自分の見解をまとめよ。
	第5回	生と死をめぐる諸問題 ーインフォームドコンセントー	予習：インフォームドコンセント、告知の単語の意味を調べよ。 復習：家族と告知について会話をする。
	第6回	生と死をめぐる諸問題 ー終末期ケアの現状ー	予習：終末期の意味を調べてくる。 復習：講義内容のまとめ。
	第7回	生と死をめぐる諸問題 ー死に逝く人へのケアー	予習：ケアという言葉の意味を調べる。 復習：エリザベス・キューブラオスの死にゆく人の心理5段階についてまとめ、自分の見解を論じる。
	第8回	生と死をめぐる諸問題 ー自死・自死遺族ー	予習：近年の自殺率を調べる。 復習：自殺予防のために何が出来るか考える。
	第9回	生と死をめぐる諸問題 ーグリーフとグリーフケアー	予習：喪失体験とは何か考えてくる。 復習：グリーフケアにおけるケア従事者の役割についてまとめる。
第10回	生と死を見つめるー震災 おもかげ復元師から学ぶー	予習：震災について考えてくること。 復習：ビデオから学び感じたことをまとめる。	

第11回	生と死を見つめるー教育現場における デス エデュケーションの取り組みー	予習：生と死の教育はどうあるべきか考える。 復習：自分ならどんな生と死の教育をするか、具体的にまとめる。																																				
第12回	芸術による生と死の理解ー文学 絵本ー	予習：自らが今まで出会った絵本で、生と死を考えさせられた本はどんな本か思い出す。 復習：講義内で紹介した本の中から、一冊選び論述する。																																				
第13回	芸術による生と死の理解ー音楽ー	予習：身近な音楽で生きる力を与えられた音楽があるか考えてくること。 復習：講義内容の感想を自分なりにまとめる。																																				
第14回	生と死を考えるー葬送のあり方の変遷と今ー	予習：葬送について調べよ。 復習：講義内容についての感想をまとめよ。																																				
第15回	生と死を考える-学びをさらに深めるために-	予習：今までの講義内容を振り返る事。 復習：紹介した書籍を中心積極的に学びを深める事。																																				
第16回	定期試験	講義内容の振りかえりを行うこと。試験後は、テストの振りかえりをし、自らの理解と考察を更に深める事。																																				
評価方法	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>授業参加度（講義中の課題を含む）40%</td> </tr> <tr> <td>テスト 60% で評価</td> </tr> </tbody> </table>		授業参加度（講義中の課題を含む）40%	テスト 60% で評価																																		
授業参加度（講義中の課題を含む）40%																																						
テスト 60% で評価																																						
受講上の注意	<table border="1"> <tbody> <tr> <td> <p>特別な理由がない限り、全ての授業に出席すること。 予習復習を主体的、自発的に行ったうえで、講義を受ける事。 授業への積極的な参加と主体的な学び、真面目な授業態度が求められる。 参考文献については、その都度連絡する。 オムニバスの授業のため授業内容及び順番が変更することもある。</p> </td> </tr> </tbody> </table>		<p>特別な理由がない限り、全ての授業に出席すること。 予習復習を主体的、自発的に行ったうえで、講義を受ける事。 授業への積極的な参加と主体的な学び、真面目な授業態度が求められる。 参考文献については、その都度連絡する。 オムニバスの授業のため授業内容及び順番が変更することもある。</p>																																			
<p>特別な理由がない限り、全ての授業に出席すること。 予習復習を主体的、自発的に行ったうえで、講義を受ける事。 授業への積極的な参加と主体的な学び、真面目な授業態度が求められる。 参考文献については、その都度連絡する。 オムニバスの授業のため授業内容及び順番が変更することもある。</p>																																						
テキスト (履修者全員が 購入するもの)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>文献名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1.</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2.</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3.</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4.</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5.</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		No	文献名	著者	出版社	出版年	ISBN	1.						2.						3.						4.						5.					
No	文献名	著者	出版社	出版年	ISBN																																	
1.																																						
2.																																						
3.																																						
4.																																						
5.																																						
参考文献 (希望者のみが 購入するもの)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>文献名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1.</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2.</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3.</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4.</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5.</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		No	文献名	著者	出版社	出版年	ISBN	1.						2.						3.						4.						5.					
No	文献名	著者	出版社	出版年	ISBN																																	
1.																																						
2.																																						
3.																																						
4.																																						
5.																																						
参考URL	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>表示名</th> <th>URL</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1.</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2.</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3.</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		No	表示名	URL	説明	1.				2.				3.																							
No	表示名	URL	説明																																			
1.																																						
2.																																						
3.																																						
更新日付	2017/4/1																																					

中部学院大学「死生学」の受講を希望する学生にシラバスに記載されていない情報を提供します

科目名	死生学
時間割	毎週木曜日 3時限目 13時20分開始 14時50分終了
初回の授業日	2017年9月21日(木)
講義室	関キャンパス 10401 講義室
注意事項	<p>受講上の注意</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スクールバスを利用する際は事前にお申し出下さい。</li> <li>2. 自家用車の方は正門前駐車場を利用して下さい。                  駐車時は守衛室へ申し出の上、出庫の際必要になるパスカードを受け取って下さい。</li> </ol>
授業についての問合せ	<p>受講に関する問合せは、                  中部学院大学教務課 0575-24-2212</p>

地図	
交通アクセス	<p>(1)東海北陸自動車道「関インター」より車で3分                  (2)JR 岐阜駅、JR 美濃太田駅、名鉄犬山駅などから無料スクールバスを運行しています。                  周辺地図、スクールバス運行表は本学 HP をご覧下さい。                  &lt;本学 HP アクセス案内 : <a href="http://www.chubu-gu.ac.jp/about/access/index.html">http://www.chubu-gu.ac.jp/about/access/index.html</a>&gt;</p>